

レッドオリヴィアの23

全400口 | 1口出資額90,000円(税込) | 総額3,600万円(税込)

生産牧場 ノーザンファーム 育成牧場 ノーザンファーム(予定)



母に捧げる誓いは重賞制覇の夢、大舞台なら府中の直線が似合う

現時点における馬体の特徴と適性

母は、G1ダービー、G1ジャパンCを制し、2001年年度代表馬に選出されたジャングルポケットの産駒。当クラブ所属馬として、4歳夏の1000万下三面川特別など、芝1800m戦を中心に4つの勝ち鞍を積み重ねました。その後も準OP難波S、パールSで連続2着、G3マーメイドSで0秒4差の6着と健闘。十分な競走能力を示し、6歳春から繁殖生活をスタートしました。1歳下の半弟にアンドロメダS、若葉SとLレースを2勝したレッドソロモン。一族に天皇賞・春を制したスズカマンボ。結果を残しているファミリーの出身でもある母が、ダービー、天皇賞・秋とG1を2勝した強豪レイデオロと配合されて登場してきた5番仔となる牡駒が、本馬ということになります。自然な形でスッと立っている首差し、肩の筋肉が発達している深みのある胸前、しっかりと背筋が付いていて、腰にかけてのラインも美しい背中、形状良く張りも十分なトモ、柔軟性に優れた胴、気になる点は皆無の前肢、飛節の造りが綺麗で可動域も大きい後肢といったパーツを持ちます。馬体のバランスの良さも強調材料。血統通りの高い芝中距離適性を発揮し、一線級へと力強く駆け昇っていく雄姿を見せてくれるはずです。

萩原清調教師コメント

はきはきとした脚捌きのいい歩様を見せてくれました。そして馬体の各パーツもしっかりしている印象です。中臀筋が発達しているので、トモの送りもスムーズさが目立ち、順調に成長してくれば何の問題もありません。レイデオロ産駒は今のところ気性的な難しさがあるタイプもありますが、その気の激しさを上手く利用して、精神面の強さを作っていければ良いでしょう。血統的な面からは芝の中距離に適性が見出せそうですが、廻ればダートに強い母系。今は凝り固まらず、本馬が大人になる過程で適性を見極めていきます。厩舎としては怪我のリスクマネジメントを徹底的に行っています。無事にレースへ送り出すことと、使うからにはベストな状態で走らせられるように管理しています。その環境の中で母の4勝を上回れるように、本馬の個性を伸ばしていきたいです。

レイデオロ	キングマンボ	Mr. Prospector
Rey de Oro	Kingmambo	Miesque
鹿 2014	King Kamehameha	*ラストタイクーン
ラドラダ	*マンファス	Manfath
La Dorada	*シンボリクリスエス	Kris S.
青鹿 2006	Symboli Kris S	Tee Kay
*レディブロード	Seeking the Gold	
Lady Blond	*ウインドインハーヘア	
ジャングルポケット	*トニービン	*カンバラ
Jungle Pocket	Tony Bin	Severn Bridge
鹿 1998	*ダンスチャーマー	Nureyev
Dance Charmer	Dance Charmer	Skillful Joy
Red Olivia	*サンデーサイレンス	Halo
鹿 2011	Admire Rich	Sunday Silence
Admire Rich	Admire Rich	Wishing Well
黒鹿 1998	*レース	Gulch
Lace	Lace	*キーフライヤー

Mr. Prospector: S4×S5×M5 Nureyev: M4×S5



管理予定調教師

萩原清調教師(美浦)

◆1959年3月3日生 ◆1996年開業(29年目) ◆JRA通算698勝 ◆JRA重賞26勝 ※成績は2024年4月30日現在

【主な管理馬】

- ロジユニヴァース:日本ダービー(G1) ●ルヴァンスレーヴ:チャンピオンズC(G1) ●ノームコア:香港C(香G1)、ヴィクトリアマイル(G1)
- ダノンキングリー:安田記念(G1) ●オーブルチェフ:全日本2歳優駿(Jpn1) ●プリサイマシーン:スワンS(G2)
- ミトラ:金鯱賞(G2) ●ランフォルセ:ダイオライト記念(Jpn2)、川崎記念(Jpn1)2着 ●トランスワープ:函館記念(G3)
- アディンザライフ:新潟記念(G3)



ファミリー(母系)

母の父 ジャングルポケットは早来産、年度代表馬、5勝、ジャパンC-G1、ダービー-JPN1。主な産駒トールポピー(オークス-JPN1)。【BMS:主な産駒】ミキースワロー(日経賞-G2)、ソルヴェイグ(フィリーズレビュー-G2)、サクセスエナジー(さきたま杯-JPN2)、ピザチンドリーム(きさらぎ賞-G3)、ロードマイウェイ(チャンジC-G3)、フルデブスリーダー(エルムS-G3)

母 レッドオリヴィア(11 ジャングルポケット)4勝、三面川特別(芝1800m)。産駒
オーロロツノ(19 牡 栗 オルフエーヴル)入着、東海公2勝
レッドシュトラール(22 牡 栗 リアルインパクト)未出走

祖母 アドマイヤリッチ(98 *サンデーサイレンス)6勝、雅S、フィリピンT。産駒

レッドソロモン(牡 メイショウサムソン)5勝、アンドロメダS-L、若葉S-L、五稜郭S、下鴨S
レッドラシーマ(牡 *クロフネ)1勝
キーフォース(牡 *ファルブラヴ)中央・岩手②入着、岩手公5勝
レディセラ(牝 キングカメハメハ)入着、南関東公2勝
レッドエーデル(牝 ルーラーシップ)入着、兵庫公2勝

曾祖母 *レース Lace(92 Gulch)米国籍、北米1勝。産駒

トーセンアレス:5勝、伏竜S-OP、金蹄S、利根川特別、プリアントS-L3着、南関東②入着、ジャパンダートダービー-JPN15着、障1勝、南関東公4勝、スパーキングサマーC、埼玉新聞栄冠賞、オーバルスプリント-L2着、報知グランプリC2着、浦和記念-JPN23着

レースウィング:5勝、羊蹄山特別、層雲峡特別。産駒
グリッターウイング:4勝、下総S、若狭湾特別、レバードS-L2着、霜月S-L2着、障1勝、小倉サマージャンプ3着
ポイマンドレース:4勝、平尾台特別、蹴上特別
コバルトウイング:1勝、南関東公7勝、京浜盃2着、東海公1勝、東海菊花賞

アドマイヤシャトル:5勝、平城京S、端午S-OP2着、高知公10勝
アドマイヤレース:5勝、シドニーT、東山特別

四代母 ***キーフライヤー** Key Flyer(86 Nijinsky)米国籍、北米3勝、Palades S-L、**スズカマンボ**(天皇賞・春-JPN1)の祖母

配合診断

父の代表産駒を狙える配合は中長距離を支配、様々な舞台で輝ける活気に満ちた牝系の新星

母レッドオリヴィアはレッドソロモン(若葉S)の半姉で、芝中距離で準オープンまで出世しました。2代母アドマイヤリッチは芝・ダート兼用のオープン馬です。牝祖キーフライヤーは名繁殖牝馬ダンシングキイの全妹で、天皇賞・春(G1)を勝ったスズカマンボはこのラインから出ています。活力あふれる牝系といえるでしょう。父レイデオロはキングカメハメハの代表産駒で、現役時代にダービー(G1)や天皇賞・秋(G1)を勝ちました。長めの距離で台頭する牡駒が目立ち、サンライズアース(すみれS)やムルソー(ユニコーンS5着)などが出ています。本馬のように母方にサンデーサイレンスの血を引き、なおかつNureyevをクロスする牡馬は、出走9頭中5頭が勝ち上がっています。前出サンライズアースもこのパターンです。成長力と持続力に富む中長距離馬で、ダートもOK。